

⑩ 日本国特許庁 (JP) ⑪ 特許出願公開  
⑫ 公開特許公報 (A) 昭62-48915

⑬ Int.Cl.  
F 01 P 5/06

識別記号 庁内整理番号  
C-7515-3G

⑭ 公開 昭和62年(1987)3月3日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 防音型発動発電機のエアシェラウド構造

⑯ 特願 昭60-188322  
⑰ 出願 昭60(1985)8月29日

⑱ 発明者 田力圭治 静岡県引佐郡引佐町白岩157  
⑲ 発明者 鈴木典久 磐田市西員坂3765-18  
⑳ 出願人 ヤマハ発動機株式会社 磐田市新員2500番地  
㉑ 代理人 弁理士 小川信一 外2名

明細書

1. 発明の名称

防音型発動発電機のエアシェラウド構造

2. 特許請求の範囲

エンジンのシリング部分の外側に、冷却風通路を形成するエアシェラウドを設けた防音型発動発電機において、前記エアシェラウドをシリング外側方向に対し左右に2分割した構造にし、各エアシェラウド半部を着脱自在に取り付けたことを特徴とする防音型発動発電機のエアシェラウド構造。

3. 発明の詳細な説明

(発明の技術分野)

本発明は防音型発動発電機におけるエンジンのシリング部分外側に、強制冷却風通路を形成するようにしたエアシェラウド構造に関するものである。

(従来技術)

防音型発動発電機は、本体を外殻ケース内に収納することにより、騒音が外へ漏れるのを防

止するようにしている。このような防音型発動発電機におけるエンジンの冷却には、外殻ケースの外側から吸引した空気をシリング外表面へ強制的送風し、再び外側へ排出するようにして行っている。通常、この場合の冷却風による冷却効果を高めるため、シリング部分外側をエアシェラウドで覆い、その内側に強制的に冷却風を流すようにする冷却風通路を形成するようにしている。

ところが、従来のエアシェラウドは一体形の構造体であるため、着脱の際にシリング外表面の障害物に当たることによって円滑な着脱操作が妨げられ、整備性を著しく低下する原因になっていた。

(発明の目的)

本発明の目的は、着脱を容易にすることにより整備性を向上させた防音型発動発電機のエアシェラウド構造を提供することにある。

(発明の構成)

上記目的を達成する本発明は、エンジンの

特開昭62-48915(2)

シリンド部分の外側に、冷却風通路を形成するエアシェラウドを設けた防音型発動発電機において、前記エアシェラウドをシリンド軸方向に対し左右に2分割した構造にし、各エアシェラウド半部を着脱自在に取り付けたことを特徴とするものである。

(実施例)

以下、本発明を図に示す実施例により説明する。

第3図は本発明によるエアシェラウド構造を有する防音型発動発電機で、1は外側を覆う外殻ケースであり、その中にエンジン2と発電機3が収納されている。エンジン2には、図示しないクランク軸の一方の軸端に冷却ファン4が設けられ、他方の軸端に上記発電機3が接続されている。この発電機3にも、その発電機自身を冷却するための別の冷却ファン(図示せず)が、他方の軸端に設けられている。また、発電機3と並列に、エンジン2の消音器5が配置されている。

割されており、各エアシェラウド半部7a、7bはそれぞれ2本ずつのボルト23、23；24、24によって、シリンドヘッド21の上面に着脱自在に取り付けられている。この取り付けにおいて、ボルト23、24はボルト頭面を共に同一方向に向け、かつシリンドヘッドカバー25を共締めするようにしている。

上述のようにシリンド軸方向に対し左右に2分割された構造のエアシェラウド7では、第1図に箭頭で示すようにボルト23、24を外すと、エアシェラウド半部7a、7bをそれぞれ独立に任意の方向へ移動させることができる。そのため、従来の一体形エアシェラウドのように、他の部分へ引っ掛かりを生じたとき簡単に取り外しにくくなるようなことはない。また、再装着する際にも同様である。したがって、整備性を著しく向上することができる。

また、実施例のようにエアシェラウド半部7a、7bを取り付けるボルト23、24の頭面をそれぞれ同一方向に向けると、作業位置を変

上記冷却ファン4、エンジン2、消音器5の外側は、それぞれエアシェラウド6、7、8によって覆われ、その内側に強制的に冷却風が流れる通路を形成している。このため、冷却ファン4の回転により、外殻ケース1の側面に設けた通気口14から吸引された空気はエアシェラウド6内に導入され、次いでエアシェラウド7、8内の冷却風通路を強制送風されながらエンジン2や消音器5を冷却し、外殻ケース1の他方の側面の排気口15から外側へ排出される。また、発電機3も図示しない冷却ファンによって空気を逆に強制送風し、排気口16から外側へ排気する。

第1、2図に示すように、上記エアシェラウド7は、エンジン2のシリンド20およびシリンドヘッド21の外側を、それらの冷却フィン22と共に覆うように取り付けられ、その内側に冷却風通路25を形成している。このエアシェラウド7は、シリンド21の軸方向に対し、左右二つのエアシェラウド半部7a、7bに分

えることなく、エアシェラウド7の着脱を行うことができるため、整備性を一層向上することができる。また、実施例のようにシリンドヘッドカバー25を共締めするようにすれば、エアシェラウド7とシリンドヘッドカバー25とを同時に脱着するときのボルト締め作業を低減することができる。

(発明の効果)

上述したように本発明は、エンジンのシリンド部分の外側に、冷却風通路を形成するエアシェラウドを設けた防音型発動発電機において、前記エアシェラウドをシリンド軸方向に対し左右に2分割した構造にし、各エアシェラウド半部を着脱自在に取り付けたので、脱着に際しエアシェラウド半部をそれぞれ独立に任意の方向へ移動させることができるため、従来の一体形エアシェラウドのように、他の部分へ引っ掛かり生じたとき取り外しにくくなるようなことはない。したがって、整備性を著しく向上することができる。

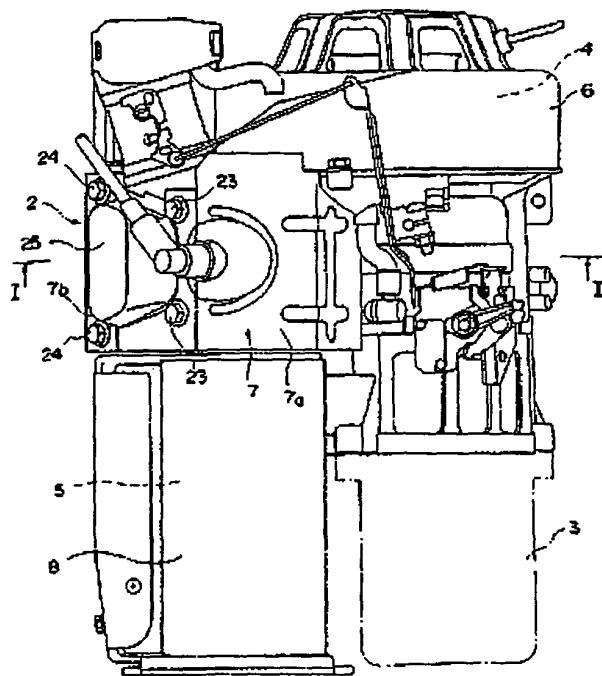
## 6. 図面の簡単な説明

第1図は第2図のI—I矢視で示す断面図、  
第2図は本発明の実施例による防音型発動発電機の本体部分を一部省略して示す平面図、第3  
図は同防音型発動発電機を概略的に示す透視図  
である。

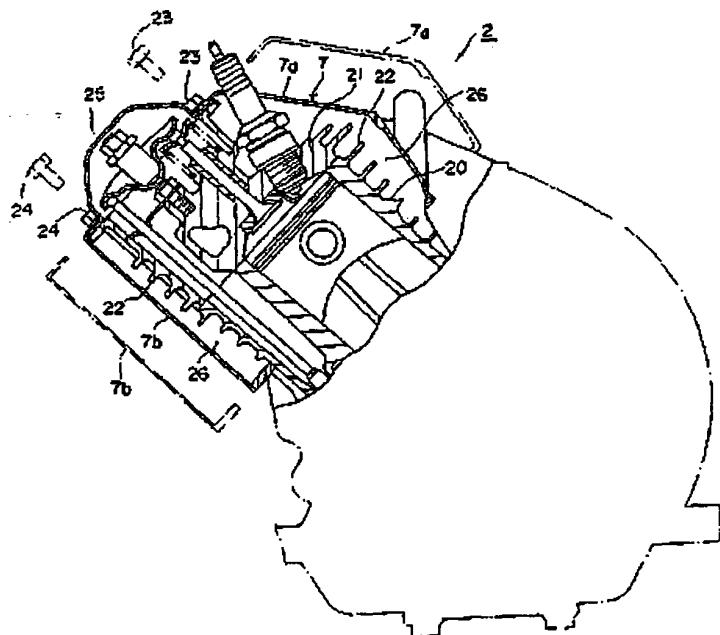
1…外殻ケース、2…エンジン、3…発  
電機、4…冷却ファン、1…エアシュラウ  
ド、7a, 7b…エアシュラウド半部、2  
0…シリンダ、23, 24…ボルト、26  
…冷却風通路。

代理人 齊理士 小川信一  
弁理士 野口賢輔  
弁理士 斎下和基

第2図

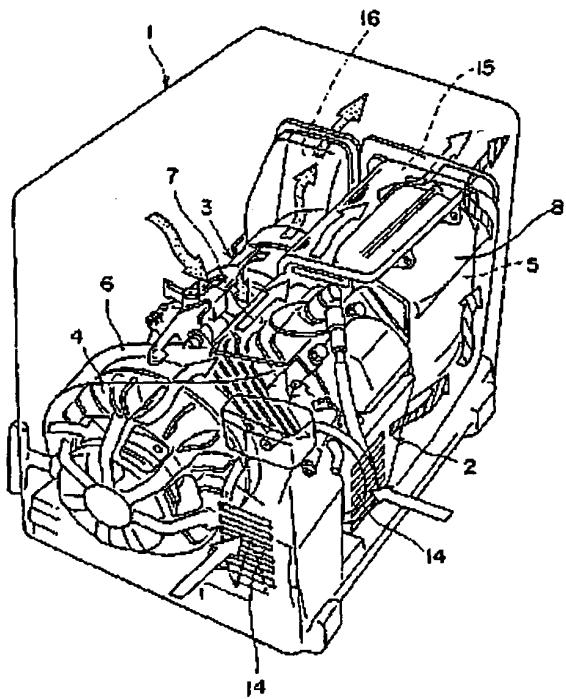


第1図



特開昭62-48915(4)

第3図



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 62-048915  
(43) Date of publication of application : 03.03.1987

---

(51) Int. Cl. F01P 5/06

---

(21) Application number : 60-188322 (71) Applicant : YAMAHA MOTOR CO LTD  
(22) Date of filing : 29.08.1985 (72) Inventor : TARIKI KEIJI  
SUZUKI NORIHISA

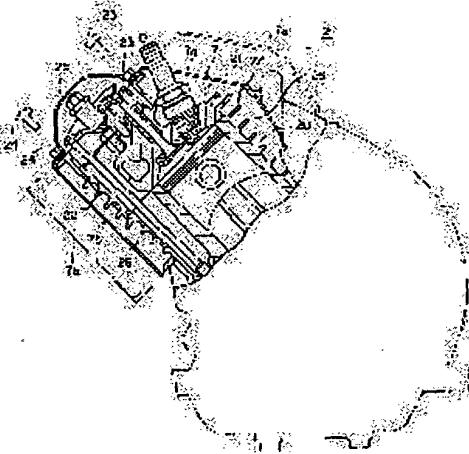
---

(54) AIR SHROUD STRUCTURE FOR SOUND INSULATING TYPE ENGINE DRIVEN GENERATOR

(57) Abstract:

PURPOSE: To simplify the removal and replacement of an air shroud and improve maintenance work thereon notably, by constructing the air shroud with its halves separated right and left with respect to the axial direction of a cylinder, and installing each half of the air shroud detachably.

CONSTITUTION: An engine and a generator are put into an outer shell case. An air shroud 7 defining a cooling air passage 26 is provided outside the cylinder portion 20 of the engine. The air shroud 7 is divided into two right and left half portions 7a, 7b of the air shroud with respect to the axial direction of the cylinder 20. Each half portion 7a, 7b of the air shroud is installed on the upper surface of a cylinder head 21 detachably by two bolts 23, 24 respectively. Thereby, the removal and replacement of the air shroud is simplified so that the maintenance work can be improved.



[Number of appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against  
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) ; 1998, 2003 Japan Patent Office